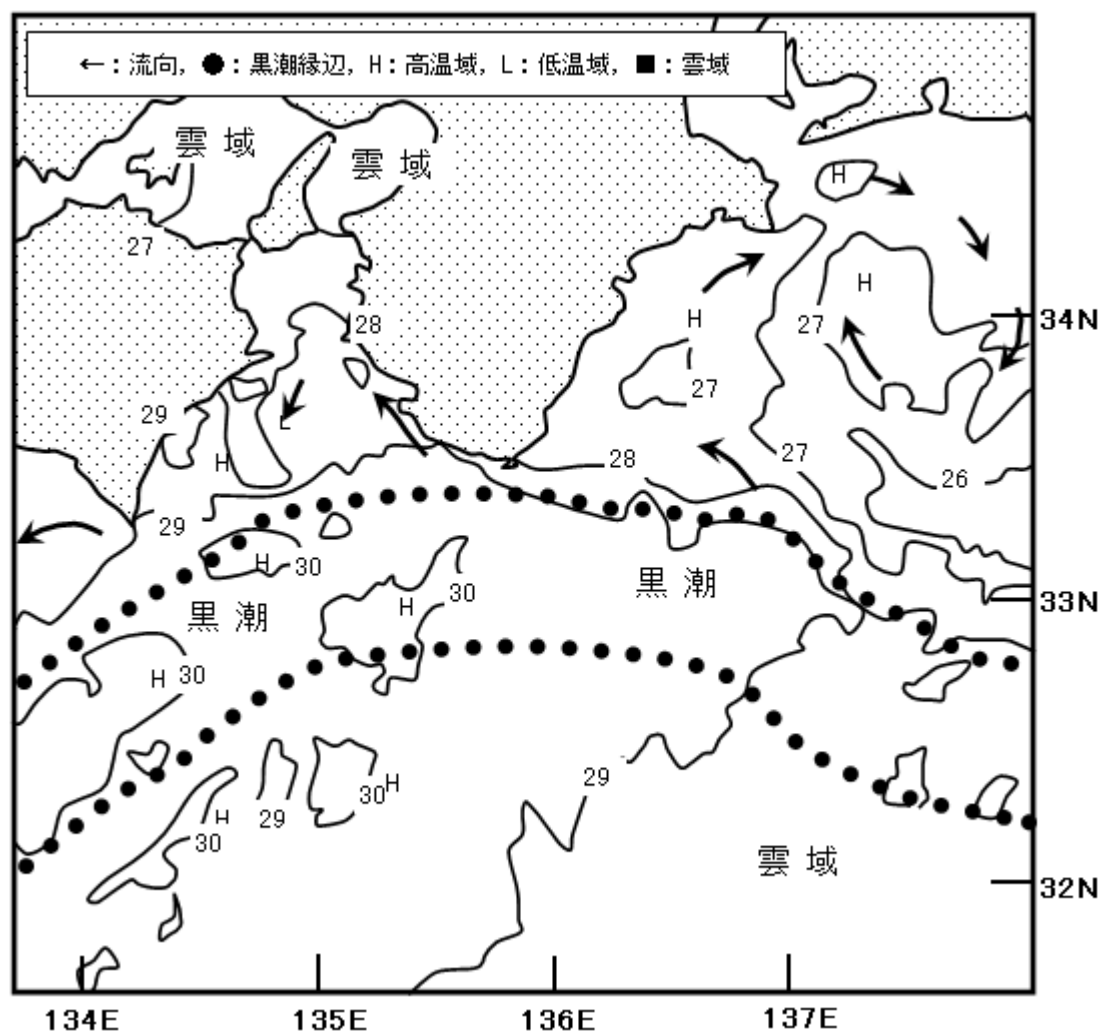


1. 海況の経過



上に三重県の人工衛星海況速報(H19.9.10)を示した。

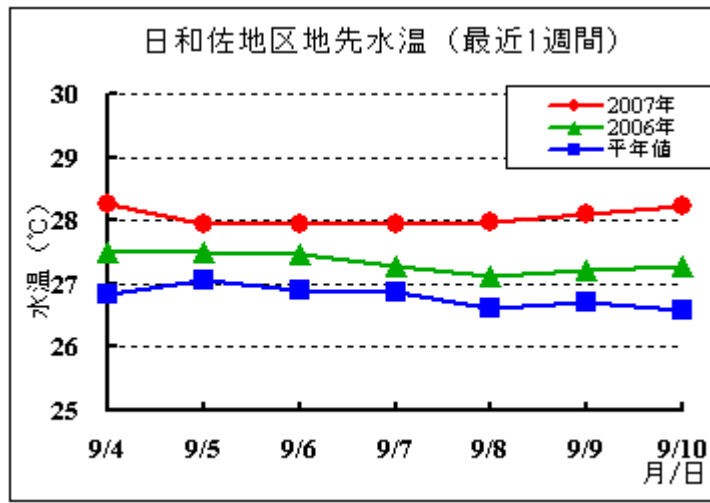
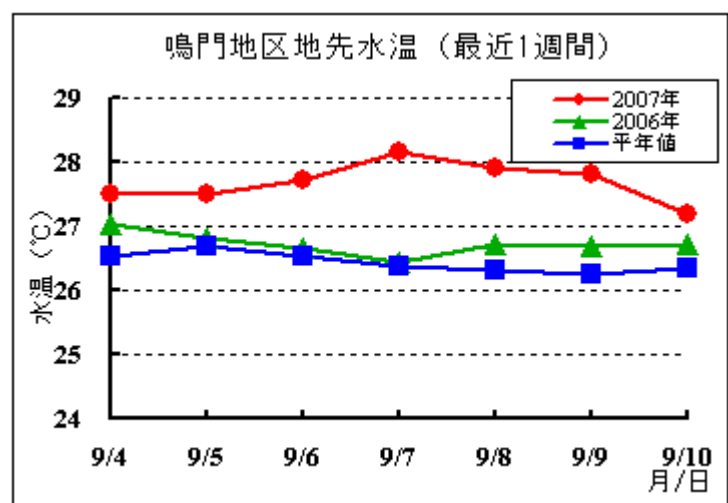
黒潮は室戸岬沖、潮岬沖とも接岸している。黒潮本流の表面水温は29～30℃台である。

表面水温は播磨灘が27～28℃台で、紀伊水道内部が27～28℃台で、外域は26～29℃台である。外域の蒲生田岬南付近くに26℃台の低水温域がある。

潮岬沖の黒潮が接岸しているため、和歌山県側から29℃台の黒潮系水が、外域へ流入しており、先端は紀伊水道内部に進入している。徳島県側で、内海系水が外域へ南下している。また、海部沿岸に29℃台の暖水域がある。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」～「高め」の27.2～28.2℃で、日和佐地区も「やや高め」～「高め」の27.9～28.3℃で、牟岐地区は「平年並み」～「高め」の27.4～28.6℃で推移した。



2. 漁況の経過

期間中は台風9号の影響で操業できない日があったため、出漁隻数および漁獲量ともに少なかった。

小型定置網:海部沿岸で、マメ、小主体にマアジが2.8トン(1日1隻あたり197kg)、カタクチイワシが0.9トン(同132kg)、カワハギが0.9トン(同46kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、小主体にシイラが2.9トン(同417kg)、特大主体にカツオが2.1トン(同349kg)、キハダが0.7トン(同57kg)、タチウオが0.7トン(同28kg)、紀伊水道でタチウオが2.4トン(同41kg)、中主体にサワラが0.8トン(同42kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが8.2トン(同83kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋)9月3日～9月9日 県下7漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網		マアジ	14	2,759	197	マメ、小主体
		カタクチイワシ	7	924	132	
		カワハギ	20	921	46	
釣り	海部沿岸	シイラ	7	2,916	417	小小主体
		カツオ	6	2,092	349	特大主体
		キハダ	12	684	57	
		タチウオ	24	667	28	
	紀伊水道	タチウオ	59	2,432	41	
		サワラ	20	835	42	中主体
		シラス	99	8,250	83	
パッチ網						

特異事項:先週に引き続き、海部沿岸でタコクラゲの出現がみられた。傘径は最も大きいもので直径約10cmである。また、播磨灘においてもみられるようになった

週間予報:

黒潮は室戸岬沖でやや離岸して、潮岬沖で接岸する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の27～28℃、日和佐地先で「高め」の28～29℃で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県の釣りでスルメイカが10.1トン(1日1隻あたり53kg)、タチウオが3.7トン(同19kg)、イサキが1.1トン(同6kg)水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、マアジが1.4トン、サバ類が2.7トン、マイワシが1.3トン、ウルメイワシが1.3トン、マルソウダが2.2トン水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上